

【AI・データセンター時代のインフラ覇権争い】 転換期を迎える海底ケーブルの勢力図

～IOWN・マルチコア光ファイバーと日本の成長戦略～

— 講師 — NTTドコモビジネス株式会社 イノベーションセンター
IOWN 推進室 エバンジェリスト
国際大学 GLOCOM 客員研究員 林 雅之 氏

日時 2026年7月14日(火) 午後3時～5時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

AI やデータセンター需要を背景に、国際通信の 99%を担う海底ケーブルが経済安全保障上の戦略資産として再定位されています。

日本はマルチコア光ファイバー技術や IOWN で優位に立ち、日本勢では大型案件を機に世界シェア拡大を狙っています。政府も 2030 年に日本企業のシェアを 35%へ引き上げ、12～23 兆円の経済波及効果を生む目標を掲げました。

今回は、これら政策の動きを踏まえ、海底ケーブルの市場競争構造、供給制約、産業連関までの市場の全体像を解説します。

1. 海底ケーブルの現在地—「99%」という数字が示す戦略性
2. 日本企業の技術的優位性—マルチコア光ファイバーと IOWN
3. グローバル市場の競争構造—4 極化する勢力図
4. 供給能力のボトルネック—技術力では超えられない壁
5. 政策パッケージ—政府が描くロードマップ
6. 今後の展望
7. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 林 雅之(はやし まさゆき)氏

1995 年 日本電信電話株式会社入社。政府案件やクラウドサービスの企画・マーケティング担当などを経て、イノベーションセンター IOWN 推進室にて IOWN に関するエバンジェリスト活動、マーケティング、各種プロジェクト等に関わる。埼玉工業大学 非常勤講師。NewsPicks トピックス「デジタル政策と未来社会」や ITmedia オルタナティブブログ等に寄稿。主な著者に『この一冊で全部わかるクラウドの基本 第2版』『オープンデータ超入門』『スマートマシン 機械が考える時代』『AI 時代の CxO 論』等。

